

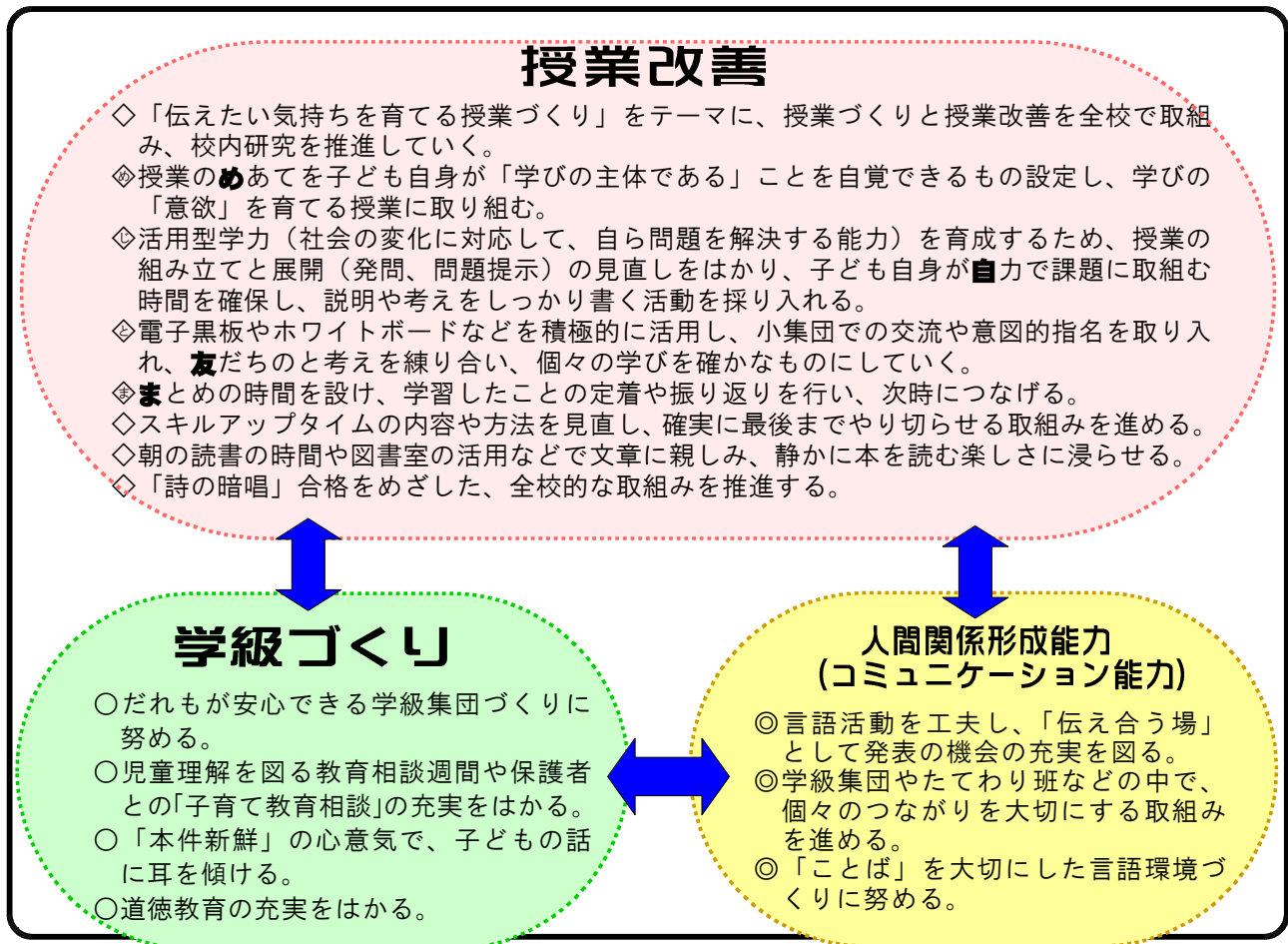
1. 本校の学力向上に関わる課題

- 内容を捉え、条件に合う言葉や文を取り出し、それを使って条件に合う文章を書くことができない。
- 図形の性質をもとに言葉や記号を使って説明づけたり、条件や言葉をもれなく使って正確に説明づけたり、順序立てて自分の考えをすることが苦手である。
- 実験結果や学習した内容を日常生活と関連付けながら説明する力が弱い。
- 家庭での学習・読書時間が少ない。
- 映像視聴時間・ゲーム時間が多い。

2. 本校の「学力」のとらえ方

- ①体験的・問題解決的な学習を重視し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた学びを实践する。
- ②学力を「学ぼうとする力」「自ら学ぶ力」「学んだ力」「学び合う力」「学びを生かす力」と捉え、授業改善に努める。

3. 学力向上へのアプローチ



家庭学習と生活習慣

- ☆家庭学習の習慣化をめざした家庭への発信と最後までやり切らせる取り組みの推進
- ☆宿題、復習、予習、読書、自主学習、日記、お手伝い、体力づくりなど
- ☆早寝、早起き、朝ごはんの生活習慣づくり
- ☆「ノーテレビ・ノーゲームデー」の推進

4. 学力向上策の検証

- ①学校評価や全国学力学習状況調査結果の分析をもとに児童の実態を踏まえ客観的な検証を図る。
- ②取り組みの記録・データをもとに、分析し、一学期より改善を図り、次年度への取り組みに生かす。
- ③取り組みの結果をもとに、10月には、再度、指導計画を見直し→修正を取り入れた授業改善の実践→検証→実態把握・学力向上目標・重点設定を行う。